

東京都済生会中央病院にご入院された患者さま及びご家族の方へ（臨床研究に関するお知らせ）

当院では以下の臨床研究を実施しております。本研究では、診療で得られた過去の検査情報をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、研究対象者といいたしませんので下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。その場合でも患者さまに不利益が生じることは一切ありません。

【研究課題名】

急性期・周術期の集中治療管理における esCCO と動脈圧波形解析法、熱希釈法による心拍出量測定の比較検討

【研究責任者】

佐藤暢一（集中治療科）

【研究機関】

東京都済生会中央病院 集中治療科 臨床工学科

【本研究の目的】

周術期や急性期に心拍出量を測定することは、血行動態を維持するために重要です。肺動脈カテーテルによる熱希釈法（CCO）や、動脈留置カテーテルによる動脈圧波形解析法（APCO）での心拍出量測定が一般的です。今回、パルスオキシメーターと心電図から得られる脈波伝搬時間を用いて心拍出量を算出する非侵襲連続推定心拍出量（esCCO）と APCO 或は CCO とを比較します。集中治療管理における esCCO の有用性を検証することで、今後の周術期、急性期の患者さんへの非侵襲デバイスの選択の機会を増やすことや、早期離床に役立てることを目的としております。

この研究は通常の診療で行われた患者さんのデータを利用する研究です（観察研究です）ので、この研究に参加することにより治療法が変わることはありません。

【情報の他の研究機関への提供及び提供方法】

単施設研究であり、他院へ個人情報を提供する予定はありません。

【調査該当期間】

2021年8月から2022年9月まで

【研究方法】

対象となる患者さん：上記期間に当院 EICU・ICU で診療を受け、心拍出量測定を実施した患者さん

装置：FloTrac/Vigileo・EV1000、Vigilance、（エドワーズライフサイエンス）CSM-1901（日本光電製）

利用する情報：カルテの診療記録／年齢、性別、身長、体重、主病名又は術名

臨床データ／心拍出量、SpO₂、動脈圧

上記の情報をカルテより個人情報がわからないようにして抽出します。

【本研究の資金源】

本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【お問い合わせ先】 電話 03-3451-8211

担当者 東京都済生会中央病院 臨床工学科（内線 5631） 小林亜理沙、東海林雄太